



Education

# CORPORATE PROFILE

Laboratory

Support

人と音楽の間に、  
よろこびとやさしさを。



## GREETING

音楽は、人類が生み育ててきた素晴らしい芸術です。  
そして、音楽文化は人々の心に数えきれない感動を与えてきました。  
私たちヤマハ音楽振興会は、  
この音楽の喜びを国境や言語を超えて一人でも多くの人に伝え、  
感情を音楽で自由に表現できる豊かな感性を育むことによって、  
明るく健全な社会づくりに貢献したいと願っています。



一般財団法人ヤマハ音楽振興会  
理事長 中田 卓也

## ABOUT US

### 設立の主旨

ヤマハ音楽振興会は、1966年(昭和41年)に文部省(現:文部科学省)の認可を得て財団法人として設立、2011年(平成23年)4月に一般財団法人に移行いたしました。当財団の設立以来の目的は、「幼児・児童・青年および成人各層のために、豊かな人間性涵養の基盤となる音楽に関する教育活動の基礎的諸問題を探求し、また、その普及を推進して広く社会教育の振興に資するとともに、あわせて我が国および諸外国における音楽文化の向上に寄与すること」にあります。この目的を達成するため、公益的立場と恒久的視野のもとに創造的な事業活動と幅広い社会貢献活動をこれからも続けてまいります。

### 法人概要

名称	一般財団法人ヤマハ音楽振興会
本部所在地	〒153-8666 東京都目黒区下目黒3-24-22
TEL	03-5773-0808(広報担当)
URL	<a href="https://www.yamaha-mf.or.jp/">https://www.yamaha-mf.or.jp/</a>
設立	1966年(昭和41年)8月29日
理事長	中田 卓也
従業員数	176名(2024年4月現在)

# 音楽の喜びを広げています。

## ヤマハ音楽振興会の活動

音楽教育事業、音楽研究活動、音楽支援事業の3つを柱に  
事業を推進しています。

Education×Music

### 音楽 教育事業

「YAMAHA MUSIC SCHOOL」の運営、  
コンサートの開催などを通して、  
多くの人に音楽の喜びを伝えます。

### 音楽 研究活動

音楽をさまざまな視点から  
調査・研究し、  
音楽がもたらす新しい可能性を  
探求しています。

Laboratory×Music

### 音楽 支援事業

1999年より  
「ヤマハ音楽支援制度」を設け、  
音楽文化発展への貢献を  
目指しています。

Support×Music

Education×Music

# 音楽教育事業

すべての人が持っている  
音楽性を育む

## 独自の教育システムで、 幼児から大人まで一貫した音楽教育

ヤマハの音楽教室の理念は、「すべての人が持っている音楽性を育み、自ら音楽をつくり、演奏し、楽しむことのできる能力を育て、その音楽の喜びを広くわかちあう」こと。この理念を実践するため体系化したのがヤマハ音楽教育システムです。

2024年にヤマハ音楽教室開設70周年を迎えたのを機に、新たに「YAMAHA MUSIC SCHOOL」として展開しています。講師の育成、教材開発、音楽能力検定制度（ヤマハグレード）、コンサートなどを開催しているほか、全国各地の教室整備やスタッフ育成にも取り組みながら、音楽普及・教育活動を推進しています。

## 学ぶ

子どもたちの豊かな創造性を育む

### ● 総合音楽教育

1954年にスタートした音楽教室は、「さく」「うたう」「ひく」「よむ」「つくる」といった音楽を多面的にとらえる「総合音楽教育」、子どもの身体的・精神的な発達に応じて、その時期に最もふさわしい教育を行う「適期教育」、アンサンブルなど仲間との関わりの中で、音楽の総合的な理解が深まり、また社会性や協調性が身につく「グループレッスン」の3つの柱で子どもたちの音楽性を育てていきます。

近年では、ヤマハの教室がない地域を中心に講師の自宅をレッスン会場とする新たなサービスも提供しています。



### ● ジュニアオリジナルコンサート(JOC)

国内をはじめ世界各国で学ぶ15歳以下の子どもたちが、心に残ったことを曲にし、自ら演奏するコンサート。1972年に発足して以来、その活動は半世紀にわたり展開され、年間35,000曲にもおよぶ作品が発表されています。この活動から多くの音楽家が育ち、現在音楽界をはじめ各界で広く活躍しています。



### ● ヤマハ・ガラ・コンサート

ヤマハの音楽教育・普及活動の中から生まれた出演者によるコンサート。若き音楽家たちの祭典として毎年開催しています。



### ● ヤマハマスタークラス

特に優れた才能や資質を持つ生徒を対象に、高い目標を達成するために必要な環境と演奏力向上の機会を提供し、国際コンクールの優勝者をはじめ、数多くの音楽家を輩出しています。



### ● おと♪はぐ

70年にわたり蓄積してきた指導ノウハウをベースに、これからの時代を生きる子どもたちに必要な「非認知能力」を育むことに重点を置いたプログラムを新たに開発。2022年からヤマハ講師による幼稚園・保育園向け正課音楽プログラムとして展開しています。



### イベント

日頃の学習成果の披露や、若き演奏家の発掘などを目的に実施している「ヤマハエレクトーンフェスティバル(YEF)」「ヤマハジュニアピアノコンクール(YJPC)」に共催しています。

※主催は株式会社ヤマハミュージックジャパン

# 楽しむ

## 生涯を通じて音楽とふれあう

### さまざまな楽器・歌のレッスン

楽器や歌など30以上のコースを展開。幅広い年代のかたがたを対象とし、初心者はもちろんさらなる上達をめざす中上級レベルの方も、楽しみながら演奏技術や音楽表現力を身につけていくことができます。

また、シニア層に向けた音楽の効果を生かした健康のためのコースや、シニア世代が青春時代に親しんだ日本のポップスや歌謡曲などを映像を活用して歌い、仲間と楽しめる「青春ポップス」も展開しています。



YAMAHA  
MUSIC SCHOOL

### まちかど エクササイズ

三重大学、三重県御浜町・紀宝町とともに実施した共同研究により、認知機能への効果が実証された音楽体操プログラムです。全国の自治体、高齢者施設で展開しています。



# 教える

## 総合的な音楽力と指導力を持つ 講師を育成

### 音楽指導者の育成

ヤマハの指導理念、指導法の考え方を深く理解し、実際の指導に必要なノウハウを身につけるため、講師ネットワークを活用した講習会や勉強会など、指導者自らスキルアップできる機会を提供しています。



### 教材開発・指導法研究

蓄積された指導ノウハウや研究開発、講師による指導法研究会での成果に基づき、レッスンに最もふさわしい指導法や教材ソフトの開発を行っています。



### ヤマハ音楽能力検定制度(ヤマハグレード)

音楽を学ぶすべての人が、自分の力を確かめながら、バランスの取れた音楽力を伸ばすことを目的として1967年に誕生。受験者数は累計1,000万人を超え、音楽力の信頼性の高い社会的評価基準として確立しています。

### ヤマハピアノコンサートグレード

演奏表現力が評価されるコンサート形式のグレード試験です。入門からディプロマまでの20段階のグレードが設定されています。

### PSTA(piano-study teachers' association)

レッスン教材「ピアノスタディ」を使用したピアノ個人レッスン指導者のためのサポートシステムで、指導に役立つ情報を提供しています。



## 世界に広がる「ヤマハメソッド」

1964年に初めてアメリカ・ロサンゼルスに開設され、現在では世界で16万人以上の生徒が音楽にふれる喜びを体験しています。各地域独自の文化や国民性との融和を図りながら、音楽の輪を大きく広げています。

### 音楽教室展開規模

【国内】

- ・総合音楽教育(生徒数202,000/会場数2,200/講師数6,600)
- ・楽器・歌(生徒数99,000/会場数1,200/講師数4,800)

40以上の  
国と地域

【海外40以上の国・地域】

- ・生徒数161,000/会場数1,250/講師数7,800

※2023年6月現在

Laboratory×Music

# 音楽研究活動

音楽の新しい可能性を  
探究する

## ● 音楽に関する研究活動

音楽が人々の生活に果たす役割を明らかにすることを目指し、教育・心理・医学・工学など科学的な視点から音楽に関する研究を進めています。研究や調査で得られたデータを音楽教育の現場に還元しながら、研究報告をホームページに掲載し、広く提供しています。

## ● 研究機関との連携

研究者や研究機関との連携により、音楽に関するさまざまなテーマの研究に取り組み、研究成果は音楽教育事業へのフィードバック、社会への還元を目指します。

## ヤマハ音楽研究所

音楽および音楽教育の新しい可能性の探究、音楽文化の創造への貢献を目的として、内外の教育機関、研究・開発機関、専門家などとの連携のもと、音楽に関わるさまざまな研究活動を行っています。

## ● ON-KEN SCOPE

2013年6月より音楽を取り巻くさまざまな研究情報をご紹介します。Webサイト「ON-KEN SCOPE」を開設しています。「子育て・教育」「学び・教養」「健康・暮らし」「研究・レポート」で構成され、専門家によるアカデミックな記事から気軽にお読みいただける読み物まで幅広く情報発信を行っています。



Support×Music

# 音楽支援事業

音楽文化の発展に  
貢献する

## ● 音楽奨学支援

優れた音楽能力を有し、将来音楽界の第一線で活躍が期待できる学生への支援（13歳以上、25歳以下）

## ヤマハ音楽支援制度

音楽と真摯に向き合い、具体的な目標を持って取り組んでいる方への支援です。この活動を通して、国内外の音楽文化の発展に寄与することを目的としています。



